帯広市　　一生涯のパートナー 第一生命 Dai-ichi Life Group　　HOTEL NUPKA

2020 年 11 月 17 日
帯広市
第一生命保険株式会社
十勝シティデザイン株式会社

ワーケーション等の推進に基づく関係人口創出・拡大に向けた連携協定を締結

帯広市（市長：米沢　則寿）と第一生命保険株式会社（代表取締役社長：稲垣　精二、以下「第一生命」）及び十勝シティデザイン株式会社（代表取締役：坂口　琴美、以下「十勝シティデザイン」）は、2020 年 11 月 16 日、帯広市におけるワーケーション等の推進に基づく関係人口(※1)創出・拡大に向けた連携協定（以下「本連携協定」）を締結しましたのでお知らせいたします。

（※1）関係人口：特定の地域に継続的に多様な形で関わる者を指す(定住者・一時的な訪問者等は含まない)。

1. 本取組について

新型コロナウイルスの感染拡大により新しい働き方などが広まる中、情報通信技術を活用して普段の居住地などから離れ、リゾート地などで仕事を継続しながら（以下「リモートワーキング」）、その地域ならではの活動（休暇、地域交流、ローカルイノベーション創出等）を行う「ワーケーション」に関心が高まっており、地方圏における関係人口の増加の流れを生み出す手段として注目されています。

本連携協定では、全国に先駆け、第一生命が帯広市の中心市街地内に保有する不動産を活用し、帯広市、第一生命及び帯広市内で HOTEL NUPKA（ホテルヌプカ）を運営する十勝シティデザインの三者で「ワーケーション」などを通じた関係人口拡大の推進や地域での暮らしの情報発信等による地域活性化に取り組んでいきます。

2. 本連携協定に基づく主な取組内容

①コワーキングスペースの提供（1階エントランスを活用）

第一生命が帯広市内に保有する築 45 年のオフィスビル（以下「本物件」）を全館リニューアルするに当たり、本物件の2・3階において、十勝シティデザインが既存ホテルの別館に相当するホテルの開業を計画しています（2021 年春予定）。本連携協定において、第一生命及び十勝シティデザインは、本物件の1階エントランスエリアを地域へ開放し、リモートワーキングに適したコワーキングスペース(※2)として、新規開業ホテルの利用者だけでなく、地域住民及び地域外からの訪問・滞在者も無償で利用できる施設とします。

（※2）オープンなコワーキングスペースに加え、秘匿性の高い会話が可能となるオンライン会議用の個室ブース 3 室を設置します。

②地域での滞在や暮らしに関する情報発信（1階エントランスを活用）

本物件1階エントランスのコワーキングスペース内で、十勝・帯広の観光情報や地域の暮らしに関する情報を発信し、ワーケーション利用客の「仕事」と「旅」をつなぐ場、地元住民との交流の場となることを目指します。これまでの情報発信手法とは一線を画し、リーフレットなどの紙ベースではなく、壁面に多様なイラストマップや QR コード集を掲示し、利用者のスマートフォンやタブレットなども利用して、インターネット経由で多様な情報（動画、画像、ブログなど）を得られる空間とします。

（外観イメージ）

（１階エントランス イメージ）

（エントランスでの情報発信イメージ）

イラストマップ集

QR コード集

暮らしに関する写真展示

③ワーケーションや移住の促進に向けたセミナーなどの開催（1階会議室を活用）

第一生命は、本物件1階の同社会議室スペースの未利用時間帯を活用し、帯広市・第一生命・十勝シティデザインが共同若しくは各自で、ワーケーションや移住の促進に向けたセミナーやイベントなどを開催できるよう施設を原則無償で提供します。当該セミナー等の開催に当たっては、オンライン配信技術を活用し、首都圏居住者など地域外の方々も対象として配信を行う予定です。

この新たな拠点を中心に、今後、本連携協定に定める項目において、緊密な相互連携と、協働による活動を実現することでワーケーション等の推進に基づく関係人口創出・拡大を目指していきます。

（※3）本資料中の記載・イメージパース等は計画段階のものであり、今後変更が生じる可能性がございます。

（参考 1）本連携協定の内容

（1）ワーケーションを通じた地方活性化に関する事項

（2）スタディケーション[※4]を通じた地方活性化に関する事項

（3）インバウンド需要喚起を含む観光振興に関する事項

（4）地域資源や地域での暮らし等の情報発信に関する事項

（5）その他、関係人口、交流人口の創出・拡大等に関する事項

（※4）スタディケーション：勉強（Study）と休暇（Vacation）を組み合わせた造語で、ワーケーションの要素を授業に組み入れたもの。学校や居住地から離れ、地域交流等を通じ学習するもの。

（参考 2）物件概要

所在地	北海道帯広市西1条南 10－18
主要用途	オフィス、ホテル
規模	階数：地上 6 階建、延床面積：約 2,600 ㎡
構造	RC 造（一部 SRC 造）
竣工	1974 年 11 月（築 45 年）、リニューアル完了：2021 年 4 月（予定）

（参考 3）協定者について

［帯広市］

人口約 16.6 万人。国内の食料供給基地である「十勝地域」の中核都市。「食と農林漁業」を柱とした地域産業政策「フードバレーとかち」を旗印に、まちづくりを展開。近年は、創業・起業施策に力を入れており、イノベーションを創発し、創業・起業に結びつける「十勝・イノベーション・エコシステム」を進めている。「とかち帯広空港（市街地から車で約 30 分）」から羽田空港へは約 1 時間半とアクセスに優れる。また、国内屈指のアウトドアフィールドを持つなど、ワーケーション利用者を受け入れる素地を持つ。

東北海道の拠点都市

広大な自然・農村空間

医療・教育・産業等の集積

［第一生命保険株式会社］

全国約 1,300 の営業拠点と、約4万人の生涯設計デザイナーネットワークを基盤に、全国の自治体と連携し、より良い地域づくりに取り組む。また、日本全国の約 1,000 万名の保険契約者からお預かりした約 36 兆円の資金を幅広い資産で運用する「ユニバーサル・オーナー」として、「QOL向上」、「地方創生・地域活性化」、「気候変動問題の解決」を重点テーマとして ESG 投資を推進している。

［十勝シティデザイン株式会社］

2014 年帯広市で創業。十勝・帯広の魅力を世界に伝える短編映画「my little guidebook」（2015 年）を自主制作。2016 年 3 月、中心市街地活性化事業の一環としてコミュニティ型ホテル「HOTELNUPKA」を開業。故郷・十勝の魅力に価値を見出し、ホテルを拠点に複数のプロジェクトを展開。2019 年には、ばんえい競馬の元レース馬が曳く馬車で夜の中心市街地を巡る「馬車 BAR」事業を開始。令和2年度ふるさと企業大賞（総務大臣賞）を受賞。

ホテルヌプカ

馬車 BAR

旅のはじまりのビール

（参考 4）協定者コメント

帯広市	新型コロナウイルス感染症の拡大により、地方を拠点とした新しい「働き方」や「暮らし方」に注目が集まっている中で、「ワーケーション利用者等の創出・拡大」は地方都市がスピード感を持って取り組むべき課題のひとつと認識しています。 本連携協定に基づく取組により、第一生命様、十勝シティデザイン様の両社と手を携え、全国に対し、十勝・帯広の魅力に加え、十勝・帯広を拠点とした「働き方」や「暮らし方」を発信していきます。
一生涯のパートナー 第一生命 Dai-ichi Life Group	当社は、中期経営計画「CONNECT2020」において、お客さま、社会、グループ内各社、そして多様なビジネスパートナーとの「つながり」の価値を高め、この「つながり」を活かした総合力を発揮し、社会課題に挑戦し続けることをコンセプトに取り組んでいます。 本連携協定に基づく取組みは、帯広市様・十勝シティデザイン様とコネクトし実現した、全国に先駆けた取組みです。今後も官民の垣根を越えて、地域の課題に共に向き合い、地域活性化・地域創生に取り組んでいきます。
十勝シティデザイン HOTEL NUPKA	当社は、「ホテルで街をつくる」の考え方のもと、コミュニティ型ホテル「ホテルヌプカ 」を 2016 年に開業。以後、魅力的な「街やど」を形成する方法で中心市街地再生に貢献する可能性を探ってきました。 今回、第一生命様のお声がけから、別館ホテルの新規開業、さらに帯広市様も交えた本連携協定の機会を得ました。今後も人が交流する場としてのホテル機能を活かして、地域での「暮らし」「働き方」の魅力や可能性を表現・発信する取組みを継続して参ります。

＜お問い合わせ先＞

【帯広市】 経済部 商業労働室 商業労働課 TEL:0155-65-4164

【第一生命保険株式会社】 広報部 広報課 TEL:050-3780-3236

【十勝シティデザイン株式会社】 代表 TEL:0155-20-2600